

## コートニーとコモックス > (About Courtenay and Comox)

コートニーとコモックスは、バンクーバーアイランドのコモックスバリーにある、隣り合った小さな町だ。ゆったりとした時間が流れるこの町に住む人々は、都市に住む人々と比較すると、おおらかで、のんびりとしている。また、自然の多く残るこの町では、道路を歩いていると、野生の鹿に遭遇することもある。

僕は2007年の4月に、この町を訪れた。大きい都市などと比べて、地元コミュニティと関係を築きやすいと思いこの町を訪れたが、この5ヶ月で、実際にたくさんの素敵な出会いがあった。そして、その出会いを通して、たくさんの良い経験をさせてもらった。特にコートニーで2ヶ月間通ったエクセルキャリアカレッジの先生方には大変お世話になった。

## < エクセルについて > (About Excel)

エクセルキャリアカレッジはコモックスバリーのコートニーに位置する。インターナショナルステューデント向けのESLの授業以外にも、地元のカナディアンを対象に様々なビジネスの授業を行っている。僕はこのカレッジで、1ヶ月目にESLの授業を取り、2ヶ月目に現地のカナディアンに交じって、ビジネスコミュニケーションの授業をとった。

学校は、こじんまりとしていて、アットホームな雰囲気が漂っている。エクセルの創立者のポリーンを中心として、学校全体の事務を担当するミッシェル、受付のアンジェラ、そして、授業を受け持つ先生方が、一つになって学校を運営している。そしてだれもが、僕たちに対して惜しみない協力をしてくれる。特に、コートニー、コモックスではとても顔が広く、様々な職種の人脈を持っているポリーンは、僕たちとの方たちの橋渡しをし、様々なチャンスを僕たちに与えてくれる。またエクセルでは、先生と生徒の距離がとても近く、一緒に海辺でバーベキューに行くこともある。

授業では、僕は、2人の先生にお世話になった。まず1ヶ月目のESLは、イアンに教わった。彼は、バンクーバーの有名なイングリッシュスクールで、長年、日本人などの生徒に英語を教えていた経験がある。彼は、その経験から培った確かな英語指導のビジョンと技術をもっており、授業はとても満足できる内容だった。特徴としては、ライティングとプレゼンテーションなど、日本人が最も苦手とする英語のアウトプットに、特に力を入れる授業だった。同じ時期に

授業を受講した、バンクーバーの有名な学校で ESL をとっていた日本人の友達もイアンの授業を大変評価していた。

2ヶ月目のビジネスコミュニケーションのメアリーは、本弁護士で、ビジネスと法律の授業を担当している。ビジネスと法律に関する専門的な知識を持つと同時に、とてもユーモアがある。授業は、僕以外の生徒が地元のカナディアンで、内容もビジネスの実践的なレベルの内容を多く含むため、授業前にテキスト10～20ページ程度の予習が必要だった。具体的な内容としては、E-mail, letter, report の書き方、プレゼンテーションの仕方などについて、実践的な課題を含めて細かく学習した。また、ビジネスで必要な文法の内容も充実していて、一歩上の文法を学習することができた。

またエクセルでは、授業以外にもバンクーバーアイランドの自然を味わうことのできる様々なアクティビティが用意されている。僕は、他の日本人の生徒と共に、アイランドの中心に位置するホーンレイク州立公園に、エクセルのポリーン、ミッシェル、そしてその家族と訪れた。ホーンレイクには、鍾乳洞と大きなレイクがあり、そこで、鍾乳洞ツアーやロープで崖をおりるラペリングなどに挑戦した。これがきっかけで、僕は、その後ボランティアで再びここを2週間訪れ、キャンプ生活をしながら、なんと英語のガイドにも挑戦することもできた。

#### <数々の貴重な体験> ( Conclusion )

小さい町であるために、地元の人々との関係を作りやすいと思いこの町を訪れたが、まさにその通りだった。この5ヶ月で、様々な人々に出会い、それを通して、沢山の貴重な体験をした。具体的には、ワインショップでの仕事、地元の音楽フェスティバルでのボランティア、ロッククライミング、地元のプライベートとパブリックスクールでの日本語教師の仕事とボランティア、バンクーバーアイランドにある州立公園での英語のガイドなど、まだまだたくさんある。

このような経験ができたのも、この町に住むたくさんの温かい方たちの協力によるのだが、特に、エクセルのポリーンには大変お世話になった。彼女は、コモックスとコートニーでは本当に顔が広く、幅広い人脈を持っている。実は、上述した体験のほとんどがポリーンの紹介がきっかけとなっている。他の日本人の友達も、彼女には本当にお世話になっている。彼女には、感謝しても感謝しきれない。

この町に移ってから5ヶ月の間に、バンクーバーアイランドの自然と、そこに住む人々に触れながら、有意義な時を過ごすことができた。今後は、ワインショップでの仕事、地元の学校での日本語教師の仕事などを続けながら、カナダの冬も満喫したいと思う。コートニーの隣には、バンクーバーオリンピックの公式練習上にも指定されたマウントワシントンという大きなスキー場があるので、冬には足を運びたい。

エクセル ( ポリーン、イアン、メアリー ) について

・ 家族のような

飲み、様々なアクティビティ ( 海辺のバーベキュー )

コートニー、コモックス

・ 町の紹介

小さい町、かわいい町、ダウンタウン、日本人が少ない。ダウンタウンやスーパーに行くと、こちらで知り合った人に会うことがよくある。バンクーバーアイランドの自然を感じる。道路に鹿！

・ たくさんの人との出会いを通じて貴重な経験

ワインショップ、ミュージックフェスト、ホーンレイク、地元の学校での日本語教師、地元の高校での日本語の授業のボランティア、ロッククライミングなど

ホーンレイク

自己紹介

カナダに来た理由

まとめ ( ボランティア、高校でのボランティア、ワインショップでの仕事、

コモックスバリー ( コートニーの町について )

リディア

小さな町

日本人が少ない

エクセルについて

アットホーム

先生とのみに行く。

また、コートニーから、お客さんとして鍾乳洞ツアーに参加していたあるカナダ人の女性の方と知り合いになりました。その方はコートニーで主にコリアンからの留学生を受け入れるクリスチャンスクールを経営していて、その日もたくさんコリアンの生徒を引き連れていました。そして、彼女から、その学校で9月から週に1度、有給で生徒に日本語を教えてくれるように頼まれました。しかし、僕は日本語を海外の方に教えたことがないので、そのことを彼女に伝えたと、それでも良いという事なので喜んで引き受けさせていただきました。僕は日本に帰ってから英語の教員になりたいと思っているので、きっとこのことから多く学ぶことがあると思います。今日学校に面接に行きましたが、とても楽しそうで今から楽しみです。

最後に、ホーンレイクでもそうでしたが、最近強く感じるのは、人と人のつながりの大切さです。自分から出会いを求めて、そしてその出会いを大切にすることによって、自分の可能性が大きく広がるということです。そして、コートニーのような小さい町ではそれがより顕著だということです。

ちなみにホーンレイクのボランティアプログラムもコートニーで2ヶ月間通った excel college のポリーンという女性の伝手で知りました。彼女はコモックスバリーでとても顔が広く、彼女の伝手と自分にスキルさえあれば、コモックスバリーではどんな職種の仕事でもみつかるのではないかと思うほどです。実は、今働いているワインセラーも、ミュージックフェストのボランティアも彼女の紹介です。9月からは、同じく彼女の伝手で、地元の高校の日本語の授業でチューターのボランティアもする予定です。